

転出入者アンケート調査結果報告

～津山“またきんちやい”“ようきんちゃった”アンケート調査～

平成27年6月

津山市総合企画部政策調整室

1 調査目的

津山市の転出入者の属性や移動の理由などについて、その実態を把握し、第5次総合計画策定等の基礎資料とするために実施した。

2 調査内容の背景と設問設定理由

転出の要因としては、「雇用」の問題、「進学」の問題が影響しているのではないかと、いう仮説のもと、若年齢層の転出の割合が高くなることを予想した。また、逆に、転入の要因としては、津山市のよさである「生活環境面のよさ」「治安のよさ」「自然環境」が影響し、高年齢層の割合が高くなることを予想し、設問を設定した。

また、職業、職種、異動先について把握するため、転出入前後でどう変化するののかも調査項目に加えた。

さらに、転出者に対しては、「津山市で生活していて感じたこと」、また、「もう一度住みたいと思うか」についてもあわせて質問し、津山市のよさと移住意向との結びつきを検証した。

3 調査対象及び方法

津山市役所及び支所の窓口で住民票の異動（転出入）手続きをした方に、アンケート調査への協力を依頼し、同意いただいた方に、その場で調査票に記入してもらった。

4 調査期間 平成27年1月14日（水）～平成27年4月17日（金）

5 回答者数と調査票回収率

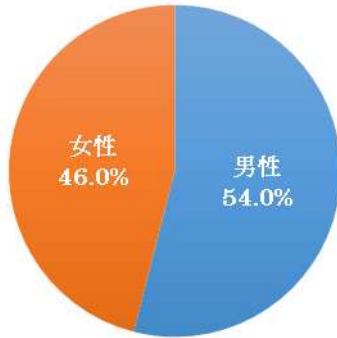
回答者数を、住民票の異動（転出入）者数で除して、回収率を算出した。

区分	性別	人数	割合	回答者数	割合	回答率
転出者	男	889	53.6%	311	54.0%	35.0%
	女	771	46.4%	265	46.0%	34.4%
小計		1,660		576		34.7%
転入者	男	758	53.5%	240	57.0%	31.7%
	女	660	46.5%	181	43.0%	27.4%
小計		1,418		421		29.7%
合計		3,078		997		32.4%

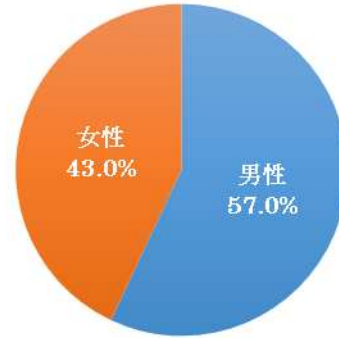
．男女別と年代

性別では、転出入者ともに、男性の割合が、やや高い。

転出者の性別 (回答数576)

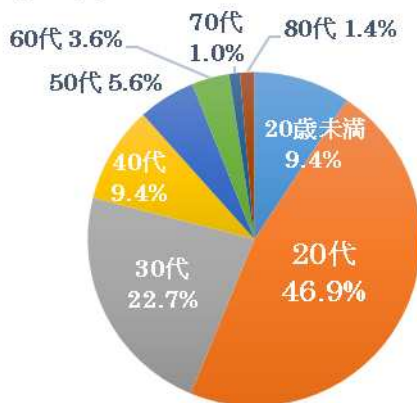


転入者の性別 (回答数421)

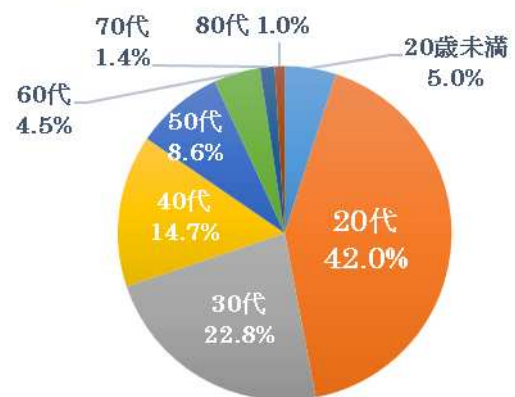


年代別では、転出入者ともに、20代が40%超、30代が20%超で、20・30代が約70%を占めている。

転出者の年代 (回答数576)



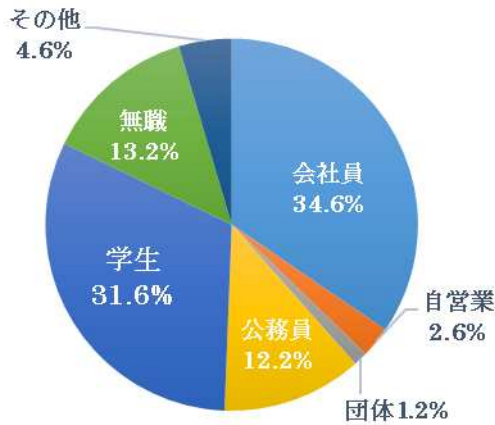
転入者の年代 (回答数421)



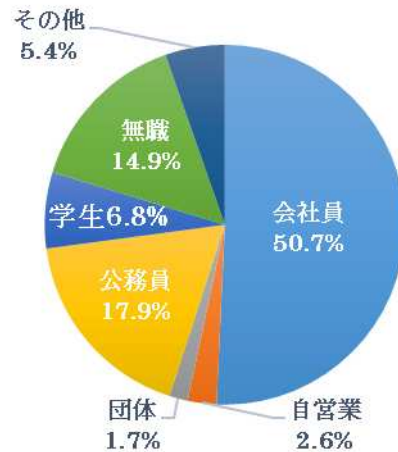
- 1 . 職業の変化 (転出者)

- 転出前から転出後で、会社員の割合が増加し、学生の割合が低下している。
- 学生の転出理由は、約 60 % が就職で、約 20 % が進学である。

転出前の職業 (回答数567)



転出後の職業 (回答数542)

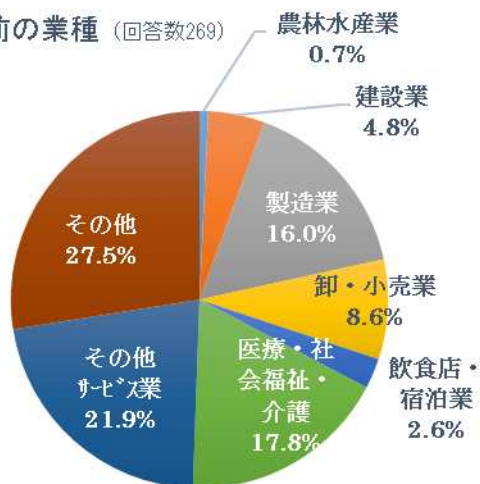


転出前と転出後で、職種に大きな変化はみられない。

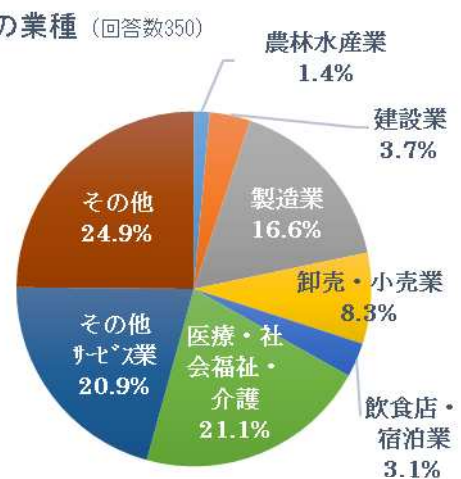
転出前と転出後の業種を比較すると、農林水産業、製造業、飲食店・宿泊業、医療・社会福祉・介護の割合が上がっている。

転出前に学生と回答した方の、転出後の職業は、会社員・公務員が、約 75 % である。

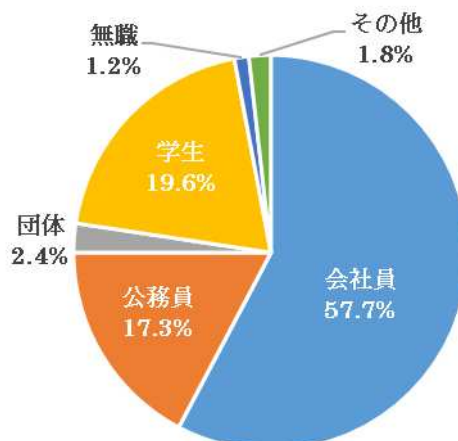
転出前の業種 (回答数269)



転出後の業種 (回答数350)



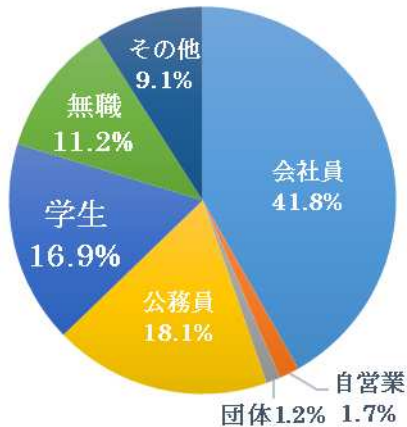
転出前に学生だった人の転出後の職業 (回答数168)



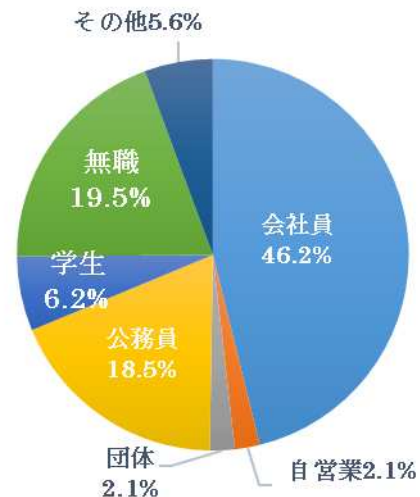
- 2 . 職業の変化（転入者）

- 転入前から転入後で、職業に大きな変化はみられない。
- 学生の転入理由は、約 50 % が就職で、約 35 % が進学である。

転入前の職業（回答数419）

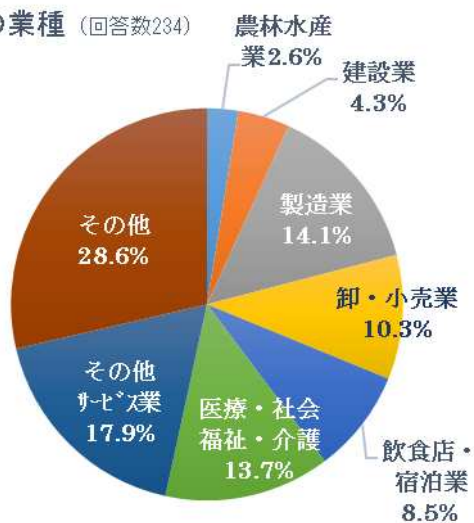


転入後の職業（回答数390）

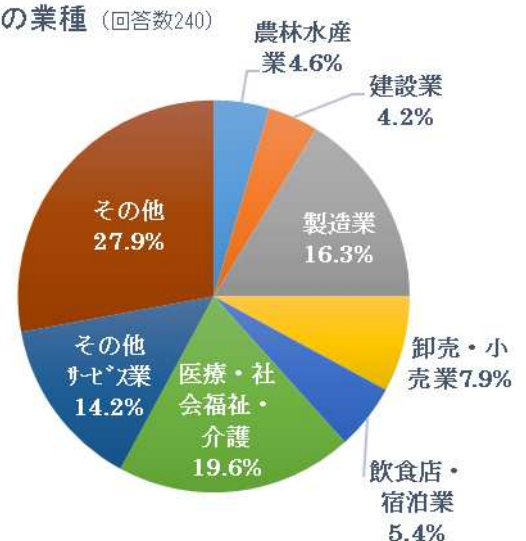


転入前と転入後の業種を比較すると、農林水産業、製造業、医療・社会福祉・介護の割合が上がっている。

転入前の業種（回答数234）

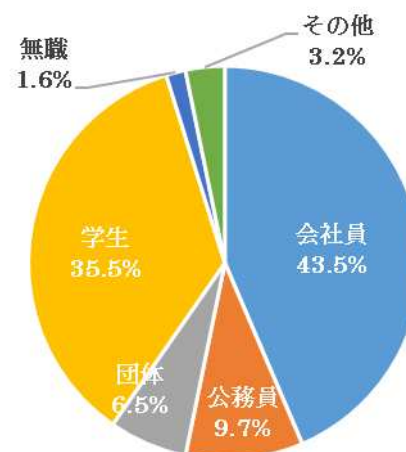


転入後の業種（回答数240）



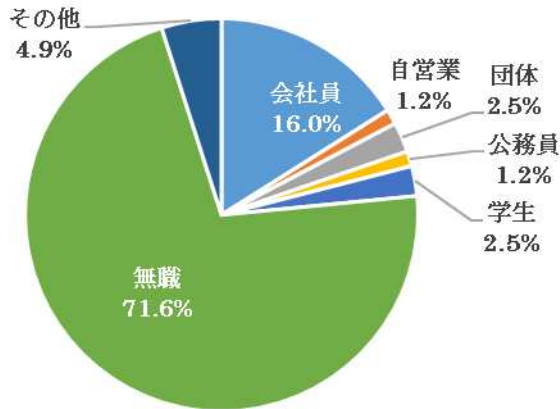
転入前に学生と回答した方の、転入後の職業は、会社員・公務員が、50 % 超である。進学の割合が、35.5 % を占めている。

転入前に学生だった人の転入後の職業(回答数62)

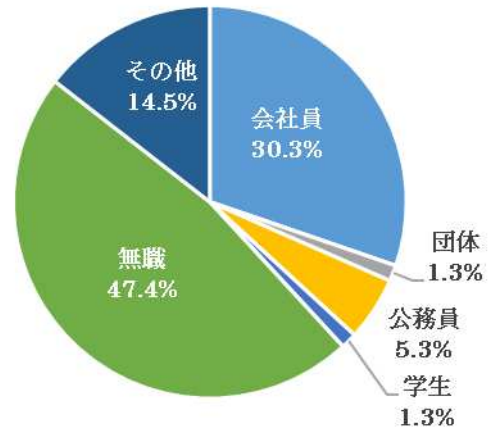


- 転出後無職の方の約30%の方が、転出前有職と回答している。
 転入後無職の方の約40%の方が、転入前有職と回答している。

転出後無職の人の転出前の職業(回答数81)



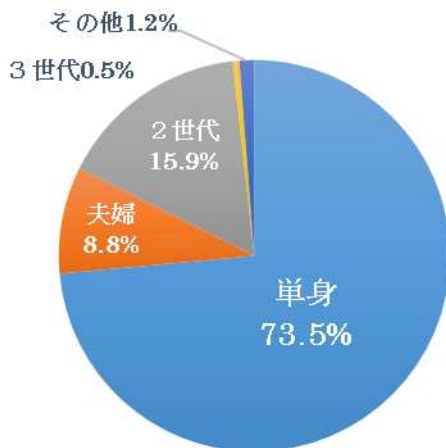
転入後無職の人の転入前の職業(回答数76)



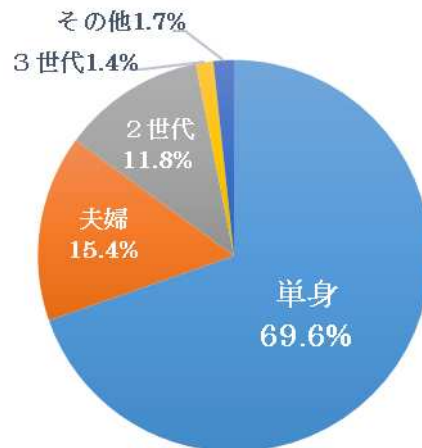
世帯構成

- 転出入ともに、約70%が単身世帯である。

転出する世帯構成(回答数567)

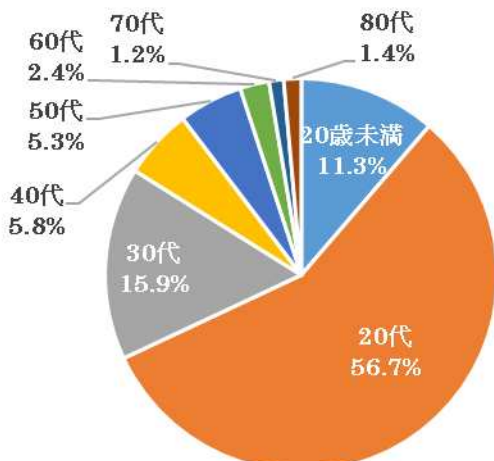


転入する世帯構成(回答数415)

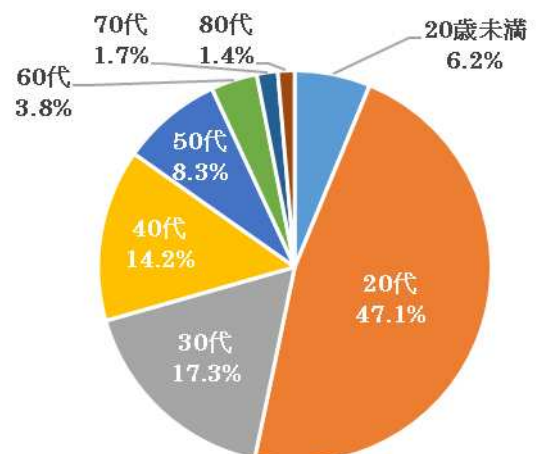


転出入ともに、単身世帯の年代は、20代~30代の占める割合が高い。

転出する単身世帯の年代(回答数416)

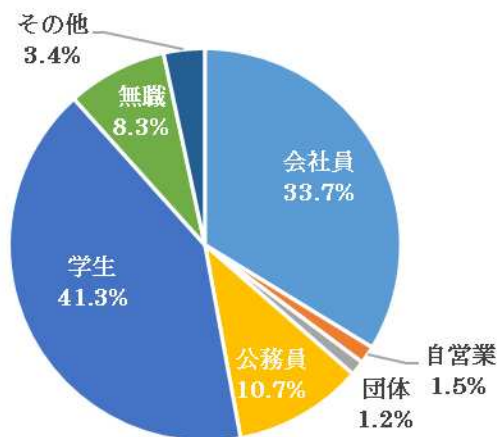


転入する単身世帯の年代(回答数289)

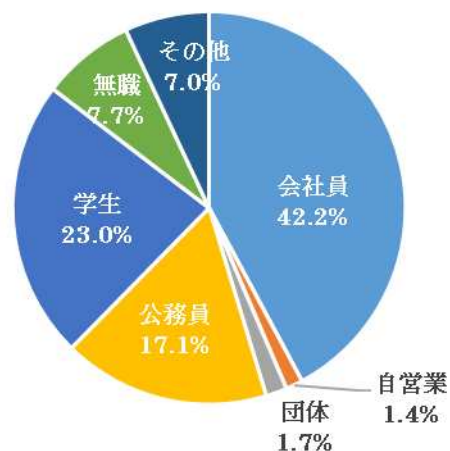


単身世帯の転出前の職業の40%は、学生である。
 単身世帯の転入前の職業の40%は、会社員である。

単身世帯の転出前の職業 (回答数412)

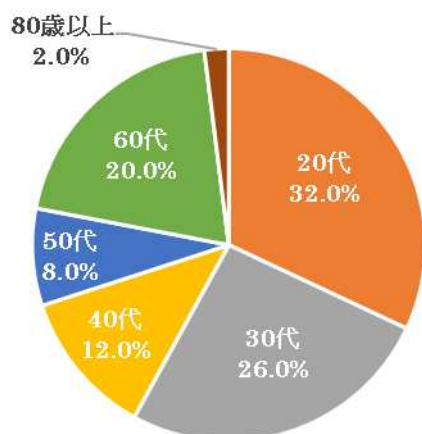


単身世帯の転入前の職業 (回答数287)

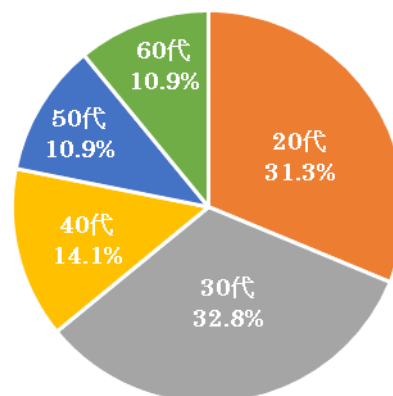


転出と転入する夫婦世帯の年代を比較すると、60代、80歳以上の割合は、転出の方が高い。

転出する夫婦世帯の年代 (回答数50)



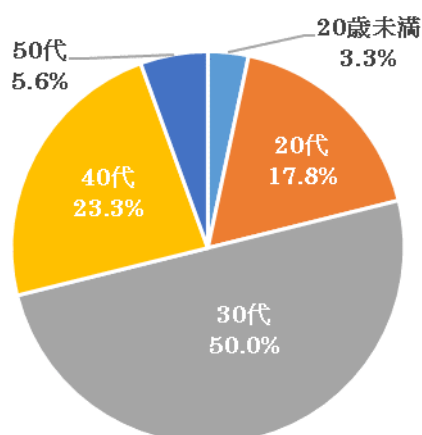
転入する夫婦世帯の年代 (回答数64)



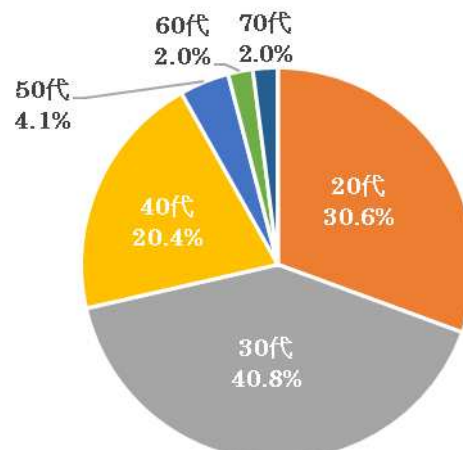
転出と転入する2世代世帯を比較すると、20代は、転入の方が高い。

転出と転入する2世代世帯を比較すると、30代は、転出の方が高い。

転出する2世代世帯の年代 (回答数90)



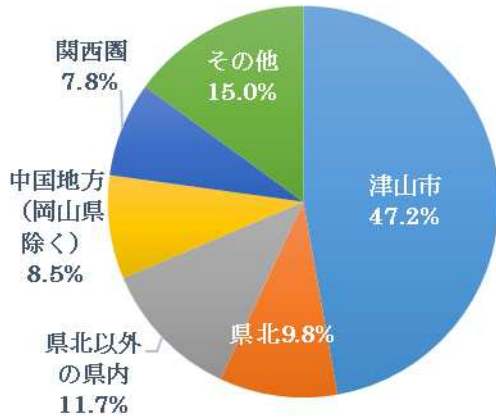
転入する2世代世帯の年代 (回答数49)



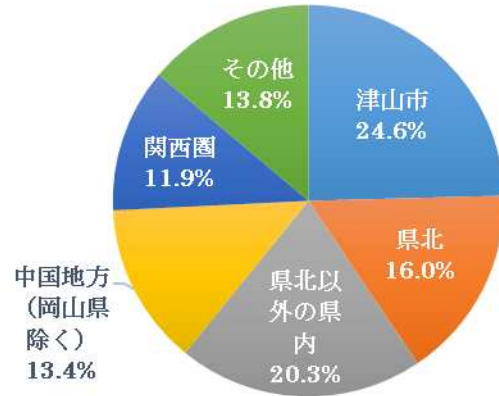
. 出身地

- 転出者の約60%は、津山市もしくは岡山県北の出身である。
- 転入者の約50%は、津山市もしくは岡山県北の出身である。

転出者の出身地 (回答数574)



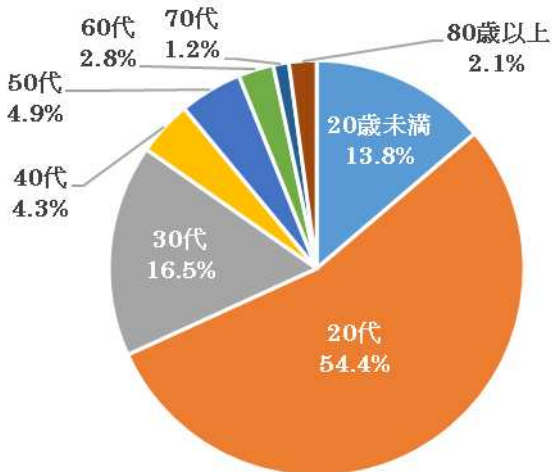
転入者の出身地 (回答数419)



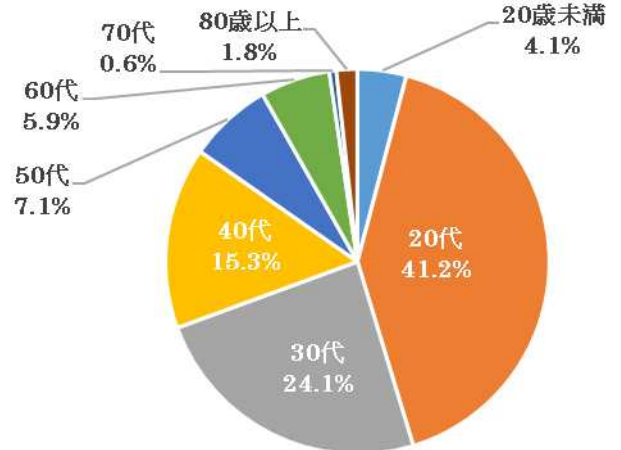
* 「県北」は津山市を除く美作県民局管内市町村を指す

転出する津山市・県北出身者の年代の割合は、20歳未満～30代が85%を占めている。
 転出と転入を比較すると、転出は、20代が高く、転入は、40代が高い。

転出する津山市・県北出身者の年代 (回答数327)

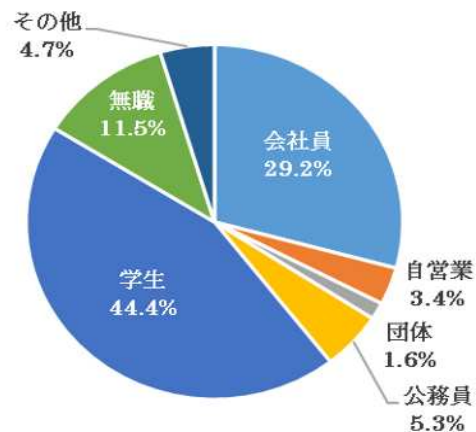


転入する津山市・県北出身者の年代 (回答数170)



津山市・県北出身者の転出前の職業 (回答数322)

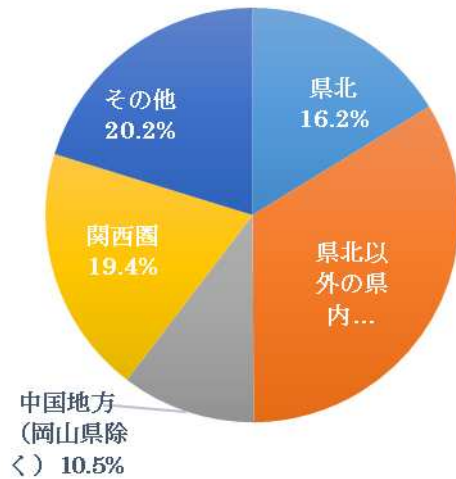
津山市県北出身者の転出前の職業は、学生の占める割合が、約45%である。



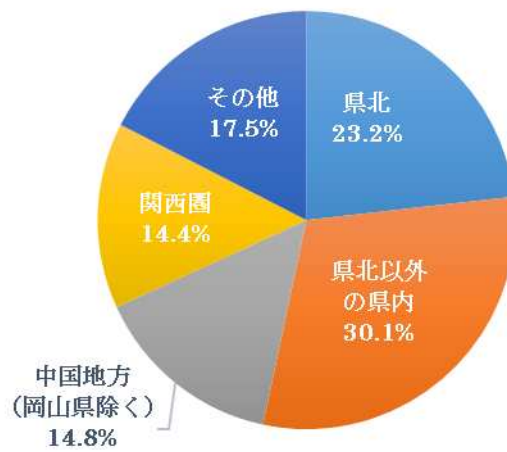
. 転入前と転出先の住所

- 転出入とも、約50%が岡山県内で移動している。
転出入ともに、県北以外の県内の異動の割合は、岡山市、倉敷市の割合が高い。

転出先住所 (回答数573)



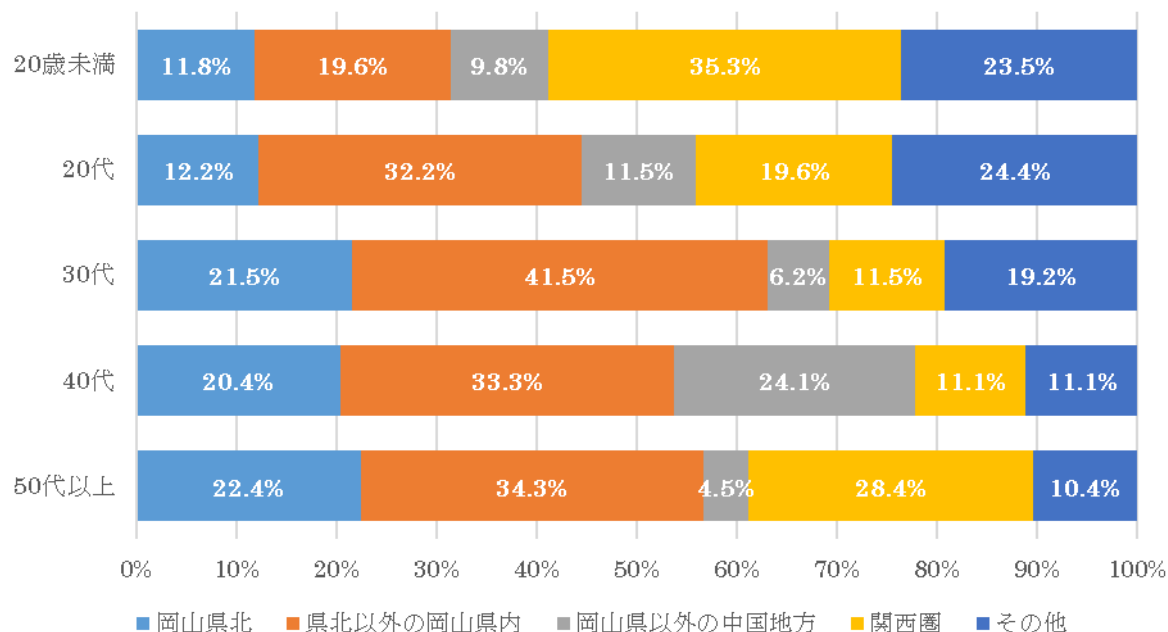
転入前住所 (回答数418)



* 「県北」は津山市を除く美作県民局管内市町村を指す

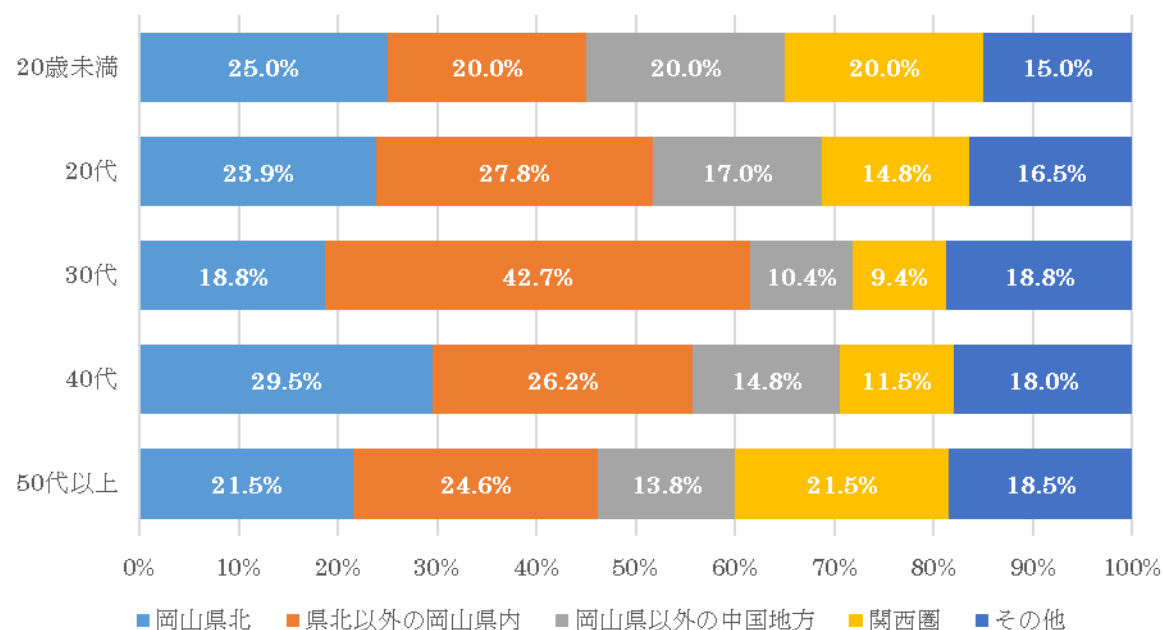
転出先住所を年代別に比較すると、20歳未満は、関西圏が35.3%と最も高い。
 一方、20代以上では、岡山県内の移動がもっとも高くなっている。
 30代の転出先住所の割合は、岡山県を含めた中国地方が、約70%である。

年代別転出先住所 (回答数572)



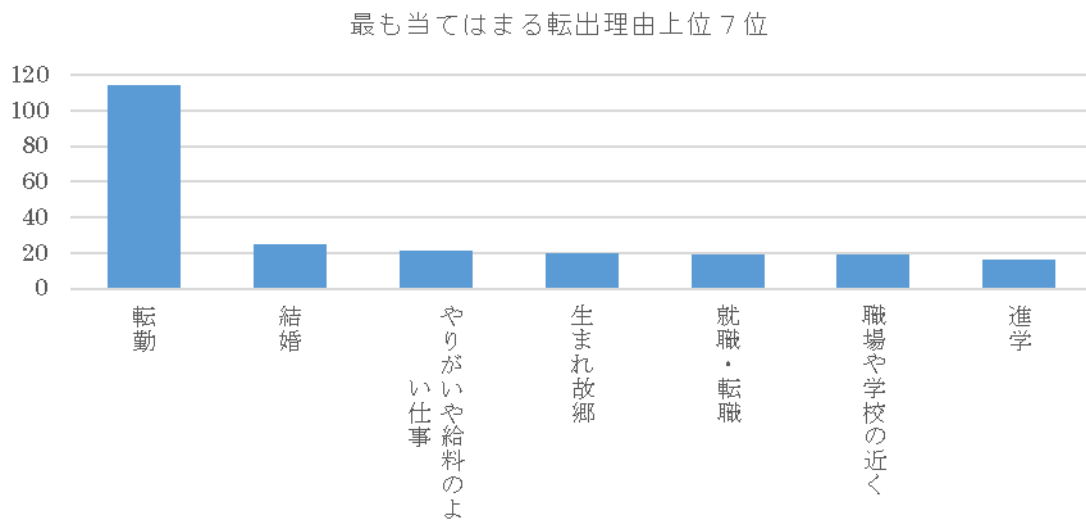
転入前住所を年代別に比較すると、30代では、「県北以外の岡山県内」が最も高いが、その他の年代には、大きな差は見られない。

年代別転入前住所 (回答数418)

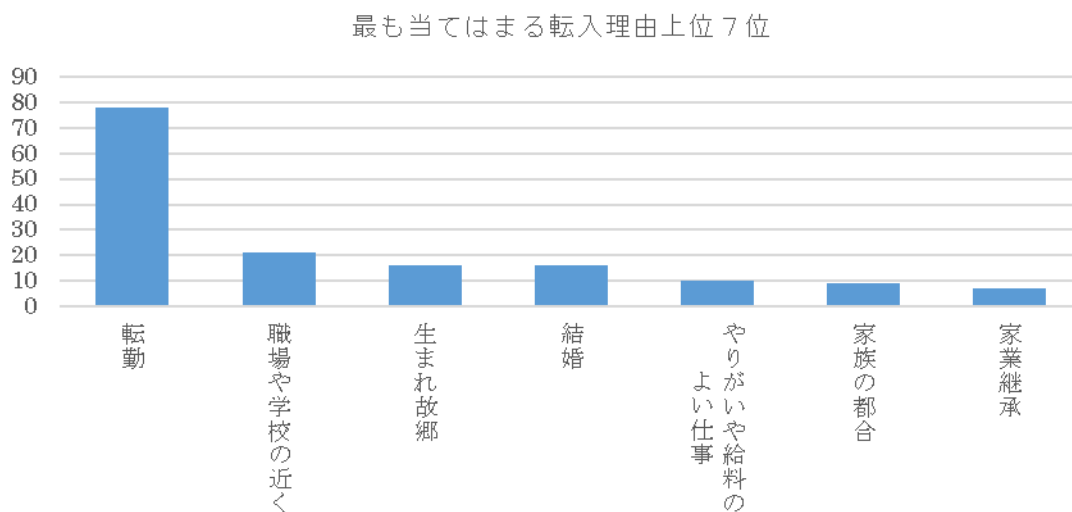


・転出入の理由の比較

○ 転出理由で、最も当てはまる理由は「自分（又は家族）が転勤になった」である。



転入理由で、もっとも当てはまる理由は「自分（又は家族）が転勤になった」である。



転出理由と転入理由を比較すると、

- ・転出者では、「やりがいや給料のよい仕事を見つけた」「就職・転職のため」といった仕事に関する理由が上位となっている。
- ・転入者では、「自分や家族の、職場や学校の近くに住みたかった」「自分（又は家族）の生まれ故郷である」といった環境に関する理由が上位となっている。
- ・「結婚」を比較すると、転出の方が割合が高い。
- ・転入理由の「家族の都合」「家業継承」は、転出の理由にはみられない。

下記の表は、転出と転入の理由（総数）の割合を比較したものである。**転出が転入を上回っているもの**に、濃い網かけを、**転入 - 転出の差が大きなもの**に、薄い網かけをしている。

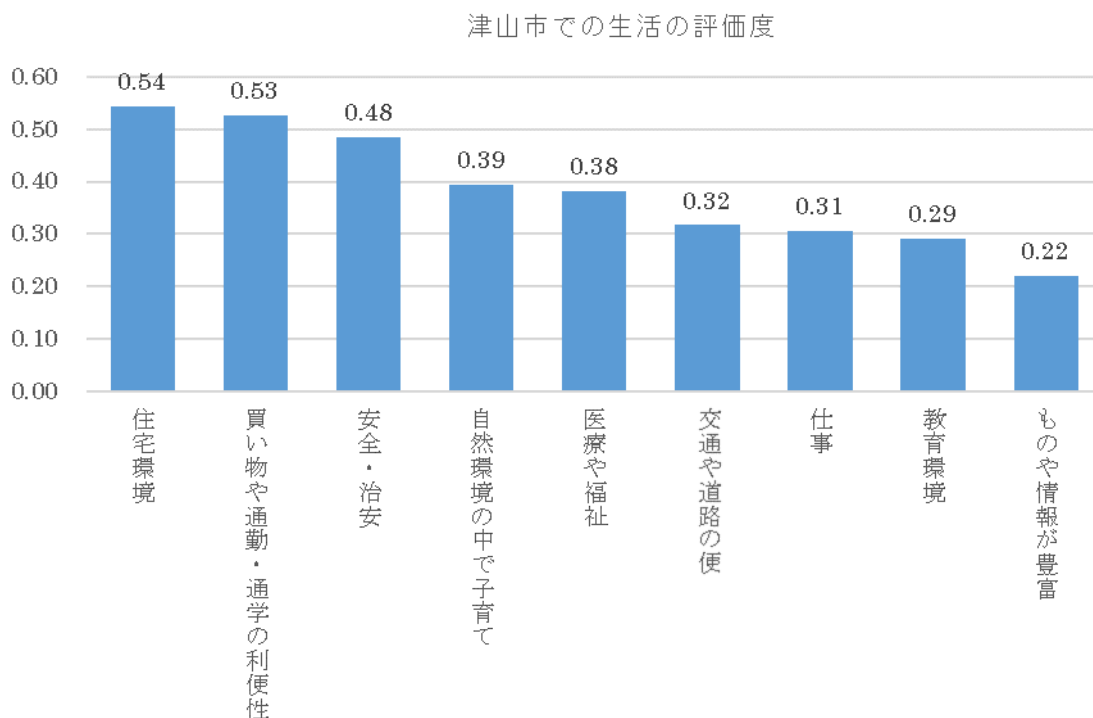
転出入の理由	転出		転入		転出 - 転入
	割合	順位	割合	順位	
自分（又は家族）が転勤になった	43.9%	1	45.3%	1	1.4%
自分や家族の、職場や学校の近くに住みたかった	19.2%	2	20.5%	2	1.3%
やりがいや給料のよい仕事を見つけた	16.8%	3	10.1%	5	6.7%
帰宅時間が適切で、自分や家族のために時間を使える（使いたい）	3.1%	15	6.6%	7	3.5%
農業をすることになった／これからしたいと思う	1.8%	20	1.5%	22	0.3%
自分（又は家族）の生まれ故郷である	11.2%	4	18.2%	3	7.1%
津山市への愛着を感じない（転入の場合は「ある」）	4.4%	9	5.1%	9	0.7%
家族が暮らしたがった／暮らす必要があった	3.3%	14	10.9%	4	7.6%
田舎での暮らしが好きだから	2.0%	16	4.3%	11	2.3%
子どもや家族の健康問題（病気の治療など）	1.1%	25	3.3%	14	2.2%
家業を継承するから	0.7%	27	3.3%	14	2.6%
後継者ではないから	0.9%	26	-	-	-
親（親類）の介護が必要だから	1.3%	23	3.3%	14	2.0%
買い物や通勤・通学、通院などが不便だった（転入の場合は「便利」）	3.7%	11	9.1%	6	5.5%
知人・親類が少なく、不安だった（転入の場合は「多くて安心」）	1.8%	20	5.6%	8	3.7%
広く、安く、快適な住宅や周辺環境が欲しかった（転入の場合は「恵まれている」）	3.5%	12	3.5%	13	0.1%
ものや情報が豊富なところに住みたい	4.4%	9	1.5%	22	2.9%
安全や治安の面で不安があった（転入の場合は「安心である」）	2.0%	16	2.5%	19	0.5%
文化・スポーツ施設が充実していなかった（転入の場合は「充実している」）	1.3%	23	2.0%	20	0.7%
道路や交通の便が悪かった（転入の場合は「よい」）	3.5%	12	4.1%	12	0.6%
医療や福祉の面で心配だった（転入の場合は「充実している」）	2.0%	16	3.0%	17	1.0%
都会で暮らしたい（転入の場合は「せわしさに嫌気がさした」）	4.8%	7	2.0%	20	2.7%
自分（又は家族）の進学のため	7.9%	5	2.8%	18	5.1%
子どもの充実した教育環境のため	2.0%	16	1.0%	26	1.0%
豊かな自然環境の中で子育てをしたい	1.5%	22	1.5%	22	0.1%
結婚のため	6.2%	6	4.8%	10	1.4%
就職・転職のため	4.6%	8	1.5%	22	3.1%

・津山市での生活の評価度（転出者）

- 「住環境に恵まれていた」「買い物や通勤・通学、通院などの利便性」「安全・治安の面で安心だった」については、転出者のほぼ半数の方が、「そう思う」と回答している。
- 「豊かな自然環境の中で子育てができた」「医療や福祉の面が充実していた」については、約40%程度、「道路や交通の便がよかった」「仕事があり、働きやすかった」「子どもの教育環境が充実していた」は、約3割の方が、「そう思う」と回答している。
- 「ものや情報の豊富さ」については、20%程度の方が、「そう思う」と回答している。

津山市での生活において感じたこと	評価度	順位
住宅が広く、安く、快適で、周辺環境に恵まれていた	0.54	1
買い物や通勤・通学、通院などが便利だった	0.53	2
安全や治安の面で安心だった	0.48	3
豊かな自然環境の中で子育てができた	0.39	4
医療や福祉の面が充実していた	0.38	5
道路や交通の便が良かった	0.32	6
仕事があり、働きやすかった	0.31	7
子どもの教育環境が充実していた	0.29	8
ものや情報が豊富だった	0.22	9

$$* \text{評価度} = \frac{\text{各項目の「とてもそう思う」の回答数} + \text{「そう思う」の回答数}}{\text{各項目の「有効回収数」} - \text{「無回答数」}}$$

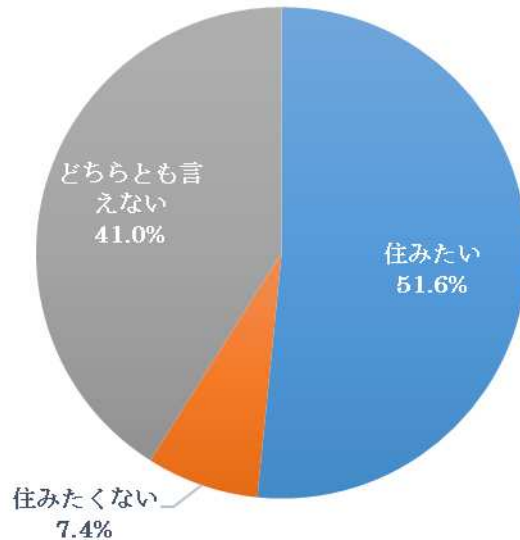


．機会があれば津山市にもう一度住みたいか（転出者）

50%以上の方が、「もう一度住みたい」と回答している。

「どちらとも言えない」と回答した方が、約40%であった。

機会があれば津山にもう一度住みたいか（回答数473）



全体のまとめ

転出については、仮説のとおり、年代は、20代～30代の若年齢層が高い割合を示し、理由は、「就職」「進学」であった。

一方、転入については、高年齢層の割合が高くなるという予想に反し、若年齢層の割合が高く、年代に差異は見られなかった。

職業、業種については、転出・転入で大きな変化は見られなかった。

移動先については、転出・転入で大きな変化は見られなかった。

転出入の理由を比較すると、「転勤」の割合が一番高いが、転勤以外では、転出は、「仕事に関すること」、転入は、「環境や家族の都合」と、理由に差が生じている。

生活の評価度によると、津山市のよさは、「生活環境」「治安」「自然環境」であり、「住みたい」と答えた方の評価も同様に高い結果となった。